

あゆみ

＼TAKE FREE／
ご自由にお持ち帰り
下さい



P2-3
特集

JCHO 地域総合医療学会報告

P4 かんご部トピックス (骨粗鬆症外来開始のお知らせ・市民講座)

P5 老健だより花かすみ コラム：駅伝大会の報告

P6 新任医師の挨拶 ゆるキャラ『ニャほんまつ』の紹介
理事長が来訪されました 行事食紹介

JCHO地域総合医療学会報告

11/29・30の2日間に渡り、仙台国際センターでJCHO地域総合医療学会が開催されました。メインテーマを「ともに築こう JCHOの強み」とし、発表を通して病院間のつながりを強固に、そして各病院の成果を共有し、より良いサービスの提供につなげる学会となっております。

二本松病院ポスター

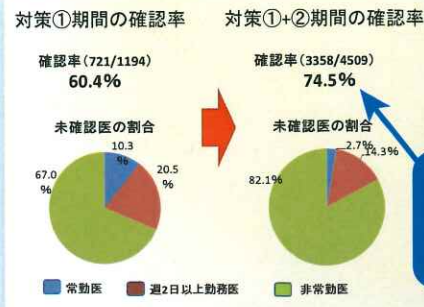
※ポスター一部抜粋

多くの方に読んでもらえるように、文字は大きく分かりやすい内容にしました。

画像診断報告書確認不足 ゼロをめざして



JCHO二本松病院
放射線科
三浦 勉



強調したいところは大きく、目立つようにしました。

目的

画像診断報告書の確認不足による医療過誤をなくすために、放射線技師としての対策を講じる。画像診断報告書の未確認件数をゼロにする。



放射線部での対策③

2022年12月～ (対策①+②+③)
読影日から3週間経過後も報告書確認がなされないものに対して、各担当科へ未確認一覧を配し、確認を促す。

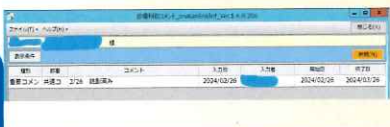
レポート一覧

担当科	未確認件数	確認済件数	確認率
内科	10	90	90%
外科	5	95	95%
小児科	2	98	98%
産婦人科	1	99	99%
泌尿器科	1	99	99%
皮膚科	1	99	99%
眼科	1	99	99%
耳鼻科	1	99	99%
歯科	1	99	99%
放射線科	1	99	99%
その他	1	99	99%
合計	25	975	97%

当院ゆるキャラ(ニャほんまつ)を使用し、和らいだ雰囲気になるようにしました。

放射線部での対策①

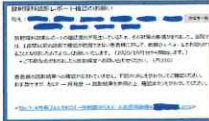
電カル導入(2020年5月)～
電子カルテのメモ機能を利用して、放射線科医読影が終了した事を知らせる。(1か月間表示)



文字やグラフが見やすいように、背景は薄い単色を使用しました。

放射線部での対策②

2020年12月～ (対策①+②)
読影日から2週間経過後も報告書確認がなされないものに対して依頼医へメールで知らせる。放射線技師(2名)による読影内容とカルテの照らし合わせ、必要に応じて各科に相談する。



マイクなし地声での発表でしたので、ポスターは見ずに聴者の方を向いて発表しました。



スライドは縦並びに掲示し、2列目は少しずらし、順番が分かりやすいように掲示しました。

今回で3回目のJCHO学会参加(品川、熊本、仙台)でした。今回は東北仙台での開催でしたが、とても参加者が多かったのが印象的でした。ポスター発表は初めてでしたが、3回目の参加ということもあり、緊張も少なく落ち着いて参加することができました。他施設の発表をたくさん聞き、情報交換もできて有意義な時間を過ごせました。

診療放射線技師 三浦 勉

発表内容と感想

訪問看護ステーションにおける看護師特定行為活用への取り組み～A市内開業医に対する認知度調査より～

看護師特定行為はタイムリーな医療の提供、チーム医療の促進を目的としています。当院では修了者が数名おり、修了区分も多岐に渡っています。院内外で安全かつ多くの看護師特定行為を実施したいと思い今回参加しました。看護師特定行為の伸び悩みは多くの施設で課題となっています。課題の内容は地域や施設により異なります。その課題を明らかにし、取り組むことの大切さに気づきました。

今後も安全に看護師特定行為を行えるよう取り組んでいきたいです。



副看護師長 石川 淑子

当施設の転倒転落の状況から見えた利用者の特徴～ペイオフマトリックスを使用して～

初めてのJCHO学会で大変緊張しました。しかしリハビリの先輩方、上司の方々からの指導を受け、当日は自信をもって発表に臨むことが出来たと思います。

また、自身の専門分野の研究以外にも、多職種の先生の発表も聞き、職種が異なれば物事に対する視点も違うこと、「連携」の重要性を再確認することができました。勉強になったことや刺激になったことが多くあった二日間となりました。貴重な機会をいただきありがとうございます。



作業療法士 大森 茜

経口摂取不可だった患者に対し、NSTの介入で経口から栄養量確保ができるまでになった1例

今回の発表をまとめるにあたり、多職種の連携が本当に大切なことを改めて認識しました。一人の患者さんに対して多職種がチームで取り組み、胃瘻造設することなく経口摂取が可能となった好症例でした。患者さんにとっても再び、食事の楽しみや喜びを得られたと思います。

また、他施設の発表を聞き、意見交換ができ有意義な時間が過ごせました。他施設の頑張りには刺激を受け、今後の業務に活かしていきたいと思えます。



主任栄養士 佐久間 美穂

寒冷凝集により輸血投与までに苦慮した事例

今回、初めてJCHO学会に参加させていただきました。様々な施設の検査技師の方とお話することができ、今まで当たり前だと思ってやっていたことが他施設では全く違うやり方だったりと驚くことが多々ありました。

また、他施設の取り組みや症例報告を聞いていると自分の勉強不足を痛感する場面が多くありました。今回参加して経験したことを職場で共有し、普段の業務に活かしていきたいと思えます。



臨床検査技師 児玉 諒

臨床工学科における業務拡大(施設間連携を行って)

今回初めてJCHO学会に参加させていただきました。各病院、各部署の熱心な発表を聞き、大変刺激を受けました。

私は、臨床工学科における業務拡大(施設間連携を行って)について発表させていただきました。

JCHO仙台病院との施設間連携を行い、コスト削減や業務向上に繋げることができました。



臨床工学技士 黒田 壮

撮影待ち時間縮小に向けて～マンモグラフィ撮影待ち時間調査と改善に向けての取り組み～

マンモグラフィの撮影待ち時間を減らすために当院で行った改善策や成果を報告しました。同じセッションでは、待ち時間の有効活用の方法や、患者満足度の発表などもあり、とても参考になりました。

懇親会では仙台のすずめ踊りが披露され、小さなすずめさん達が一生懸命踊り、とても微笑ましく楽しい時間でした。

またこのような会に参加できるよう自己研鑽につとめていきたいと思えます。



診療放射線技師 佐藤 祥子

かんばん部トピックス



みんなで骨を丈夫にしよう！ 骨粗鬆症外来が始まりました

～診察について～

外来看護師 齋藤 祐美子

私の骨は大丈夫かしらと不安に思っている方へ、その中でも一度薬を飲み始めたらずっと飲むのは嫌だなあと思っている方、必ずしも飲み続けるとは限りません。まずは気軽に骨粗鬆症外来を受診してみませんか。

骨折しないためには自分の骨の状態を知ることが非常に大切です。何が不足しているのか、どうすれば丈夫な骨になるのか、スタッフ一同でサポートしていきますのでよろしくお願ひします。

～骨密度測定装置について～

診療放射線技師長 中村 好

骨粗鬆症患者数の増加に伴い、当院では令和6年より最新鋭の骨密度測定装置を導入しております。この装置は骨折が発生しやすい腰椎、大腿骨頸部の骨密度をX線で測定します。検査時間は10分以内で痛みもなく、あおむけに寝て検査します。あおむけが難しい場合は腕での検査も可能です。

健診でも骨密度検査を行っておりますので、骨折予防のために検査を受けてみてはいかがでしょうか。



診察についての情報

診療日/毎月第3水曜日 14時~16時
予約の有無/要予約(電話での予約可)
ご持参いただくもの/お薬手帳

～骨粗鬆症ポスターのお知らせ～

栄養管理室 佐久間 美穂

郡山女子大学家政学部食物栄養学科3年の学生2名が二本松病院で実習を行い、骨粗鬆症のポスターを作成してくれました。皆さんの食事はカルシウム不足になっていませんか?外科外来前に掲示しておりますので是非ご覧ください。



骨粗鬆症についての栄養相談受付中!



12/6 に市民講座を開催しました みんなで考える感染対策

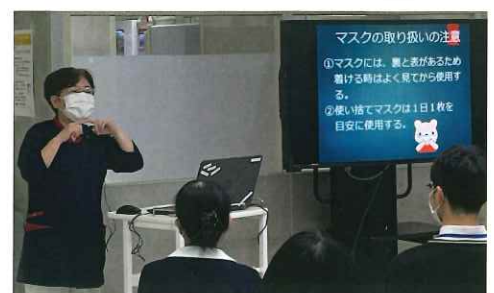
感染管理認定看護師 齋藤 宏子

インフルエンザ、新型コロナウイルス、ノロウイルス、結核はどのように感染するのか、感染予防はどうしたらよいかについて話をしました。

自分でできる感染予防は、まず手洗いです。正しい手洗い方法を知ること、感染からご自身・ご家族を守ることになります。また咳や、くしゃみをするとき大量の飛沫が飛んでしまうため、咳エチケットはとても大切な感染対策です。寒い冬は、換気を敬遠されがちですが、暖房を上手に使用し効果的な換気の方法、普段から十分な睡眠と、バランスのよい食事を心がけ、免疫力を高める方法について講演しました。

市民講座を終えての感想

市民講座が終わり、片付けを行っているとき講座を聞いていた方が、「大事な話だったね、勉強になったよ」と声を掛けてくださいました。地域に認定看護師がいてくれてよかったと思っていただけのように頑張ってお手伝いさせていただきます。



二本松病院附属介護老人保健施設だより

花かすみ

老健では敬老の日にちなんで、可愛い園児の歌やダンス、歌謡曲の演奏ボランティアさんがお祝いに来てくれました。

敬老会の様子



担当者の感想

近くのつばさ保育園、二本松かすみ園から子どもたちがダンスや歌を披露してくれました。元気でかわいらしい姿に、「かわいいかわいい」とご利用者様もニコニコ笑顔が溢れていました。また、子どもたちから素敵なクリスマス飾りのプレゼントをいただき、病院の玄関を華やかにしてくれました。そして、歌謡曲のボランティアさんには懐かしの歌を演奏して頂き、当時を思い出しながら、歌をロズさんだり、タンバリンやマラカスで共演したり、久しぶりの生演奏を楽しんで頂きました。最後に唄った「ふるさと」は皆さんの声がとても綺麗で印象的でした。

コラム

駅伝大会に参加しました

今年も二本松駅伝の季節がやってきました。当日は天気にも恵まれ、少し肌寒くも絶好の駅伝日和となりました。二本松病院チームは一丸となり、全員がケガをすることなく、初冬の二本松を最後まで一生懸命走り抜けたことを大変喜ばしく思います。来年も参加できるよう、練習を重ね頑張っていきたいと思います。沿道で応援いただいた皆様、本当にありがとうございました。

介護老人保健施設 廣田 良一



新任医師の挨拶



高澤 奈緒美
内科医長
専門：家庭医療学

このたび、二本松病院に新任医師として着任いたしました、高澤と申します。私は家庭医療学を専門としており、前任の診療所や在宅医療の現場において幅広い診療を行う中で、患者さん一人ひとりの生活背景や価値観に寄り添う医療を心掛けてまいりました。

家庭医療学では、疾患の治療にとどまらず、予防医療や健康管理、さらにはご家族全体のサポートを含めた包括的なアプローチが求められます。私はこれまでの経験を活かし、地域の皆さまが安心して暮らせる健康的な環境づくりに貢献していきたいと考えております。

医療は患者さんやご家族、そして医療チームとの協力によって成り立つものだと思います。私自身は未熟な点も多いですが、皆さまのお力をお借りしながら成長し、信頼される医師を目指して働きます。どうぞよろしくお願いいたします。

ゆるキャラ『ニャほんまつ』の紹介

令和6年度に、二本松病院のゆるキャラ「ニャほんまつ」が誕生しました。吉田事務長が生みの親で、院内に限らず地域に愛されるキャラクターとなることを目指しています。リクエストに応じて作成した、いろいろなパターンがあるのが特徴です。

性別：内緒です！

性格：おとなしい性格ですが、強い責任感と芯の強さを兼ね備えています。

欠点：ねずみを見たら追いかけてはいられないこと。

住処：二本松病院内

特徴：三毛猫をモチーフに、二本松のシンボルである菊の花をアクセントに医師から各種技師・看護師・事務員まで何でもこなすスーパーキャラクターで、二本松病院のPRのため日々頑張っています。



理事長が来訪されました

10月10日、JCHOの代表者である山本修一理事長が当院を来訪し、多職種の職員と意見を交わしました。事務の私としましては、医療従事者から医療現場の話聞く貴重な時間でした。その中で、患者様の時間外・救急受診をもっと柔軟に対応できるようにしたいという声も上がりました。

JCHOは全国に病院があるのが強みで、全体研修も活発です。地域住民の皆様にもいつまでも貢献していきたいです。

総務企画課 岸部 佳弘



行事紹介

栄養管理室 渡部 淳子



お品書き
新米
ゆかりを添えて
鮭の照り焼き
菊のお浸し
いか人參
ざくざく汁
水菓子(りんご)

山本理事長には、ちょうちん祭りにちなんだ行事食を召し上げて頂きました。松花堂弁当に盛り付けるだけで、料理の一品一品が引き立ちます。福島と言えば「いか人參」、二本松と言えば「ざくざく汁」ですね。理事長からもお褒めの言葉を頂きました。

〈編集後記〉

あゆみ冬号をご覧いただきありがとうございました。今年度も残り3か月、あっという間ですね。やり残したことはありませんか？寒さも厳しくなっています。手洗いうがいをして、インフルエンザや風邪に注意して過ごしていきましょう。

JCHO二本松病院 福島県二本松市成田町1-553
TEL.0243-23-1231 FAX.0243-23-5086
HP <http://nihonmatsu.jcho.go.jp>
発行者：あゆみ編集委員会